

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROBOTO

2026年(令和8年)5月25日号 No.2024

目次

■ プーチン大統領の中国訪問	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2026年6月号のご案内	8
■ トピックス	9
英、EU、加、ロシアに追加制裁／9	
米国、ロシア産原油取引への制裁緩和を再延長／9	
英国、ロシア産原油由来燃料の輸入を一部容認／9	
シクロケム、モンゴルのラクダミルク事業化へ／9	
米国、ロシア産パラジウムに高関税決定／9	

プーチン大統領の中国訪問
— 強まる政治的結束と深まる対中依存 —(一社)ROTOBO ロシアNIS経済研究所
所長 中居 孝文

はじめに

2026年5月19～20日、プーチン大統領が中国を訪問し、習近平国家主席との首脳会談に臨んだ。今回の訪問は、トランプ米大統領訪中の直後というタイミングもあり、国際的にも大きな注目を集めた。今回、中ロ首脳は、首脳会談を通じて、政治・安全保障・経済分野にわたる両国の協力強化を確認するとともに、複数の共同文書の調印に立ち会った。一方で、エネルギー協力を含む経済案件では具体的成果はみられなかった。本稿では、今回のプーチン訪中について、首脳会談の政治的意味合いと中ロ関係の現状を中心に整理したい。

1. トランプ訪中の直後に行われたプーチン訪問

5月19～20日、中国の習近平国家主席の招待を受け、プーチン大統領が北京を訪問した。プーチン大統領の中国訪問は今回で25回目となった(プーチン大統領と習主席との首脳会談は40回を超えている)。ほぼ24時間の短い滞在の中で、プーチン大統領は習近平国家主席との首脳会談、李強首相との会談を行ったほか、文書署名式、共同プレス発表などの行事に参加した。今回のプーチン訪中には、ロシア側から39名が公式代表団として帯同し、その内訳は副首相が5名、閣僚が8名を含む政府・経済界のハイレベルの代表からなる錚々たるメンバーだった(図表1)。

この訪中は、米国トランプ大統領の中国訪問(5月13～15日)の直後に行われたことから、世界的にも注目を集め、2つの訪問が互いに比較されることになった。今回の訪問について、大統領府のウ